令和７年度

危険物取扱者試験受験案内

この案内書を最後までよく読んで、記載されている内容に同意したうえでお申込みください。申し込まれた方は、受験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなさせていただきます。

お知らせ

1　インターネットによる受験申請（電子申請）ができます。
詳しくは、（一財）消防試験研究センターのホームページをご覧ください。
・ホームページ　https : //www.shoubo-shiken.or.jp/
・電子申請に関する問合せ先：
（一財）消防試験研究センター本部　電子申請室
電話　0570－07－1000（有料）
（土・日・祝日・振替休日を除く9：00～17：00）
また、本案内書の４～７ページも併せてご覧ください。

2　試験当日は、写真を貼った受験票を必ず持参してください。受験票をお持ちでない方は受験できません。
詳しくは、６ページの「10.　受験票及び写真」の(2)をご覧ください。

3　試験会場には、駐車できる場所はありません。他の施設の駐車場や道路上等に駐車すると他の迷惑になります。公共交通機関等を利用し、試験会場への自動車での来場はしないようにしてください。

4　この受験案内は、合格発表後に免状交付申請の手続き（８ページ参照）をするまで大切に保管してください。

一般財団法人　消防試験研究センター香川県支部
〒760-0066 高松市福岡町2-2-2 香川県産業会館4階
TEL 087-823-2881　FAX 087-823-2887

事故等により会場や日程を変更する場合には、香川県支部からの緊急情報としてホームページに掲示します。特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して試験日時を変更する場合の緊急情報は、試験開始時間の２時間前までに掲示します。

令和７年度　危険物取扱者試験受験案内

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の５第１項の規定により、香川県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

１．試験の日時、試験種類、実施場所及び受験願書受付期間

回	試　験　日	試 験 種 類	試 験 時 間	試験会場	受　付　期　間
1	７月５日(土)	乙種第４類	10:00～12:00	香川大学創造工学部	５月15日（木）～５月26日（月）
			14:00～16:00		
	７月６日(日)	甲　種	10:00～12:30		
		乙　種 第１、２、３、５、６類	10:00～12:00		
		丙　種	10:00～11:15		
2	11月２日(日)	乙種第４類	10:00～12:00	香川大学創造工学部	９月16日（火）～９月26日（金）
			14:00～16:00		
	11月３日(月･祝)	甲　種	10:00～12:30		
		乙　種 第１、２、３、５、６類	10:00～12:00		
		丙　種	10:00～11:15		
3	令和８年 ３月７日(土)	乙種第４類	10:00～12:00	香川大学創造工学部	令和８年１月14日（水）～１月23日（金）
			14:00～16:00		
	令和８年 ３月８日(日)	甲　種	10:00～12:30		
		乙　種 第１、２、３、５、６類	10:00～12:00		
		丙　種	10:00～11:15		

〈注〉

・午前と午後に区分して実施する乙種第４類の試験については、当支部が午前・午後を指定します。**午前・午後いずれの指定を受けても良い状態で出願してください。**

・**集合時刻：各試験の開始30分前までに必ず集合してください。**（注意事項の説明があります。）

・試験日程等は、ホームページでも確認できます。

・試験日程等は、変更する場合がありますので、ご了承ください。
また、台風等の災害などにより試験の実施について変更が予想される場合には、当支部のホームページで確認してください。

・試験会場（香川大学創造工学部）の所在地：高松市林町2217-20（15ページの「案内図」を参照）

２．受験願書受付場所、受付時間等

(1)　電子申請

（一財）消防試験研究センターホームページから申請してください。

(2)　書面申請

受　験　願　書 受　付　場　所	〒760-0066　高松市福岡町２－２－２　香川県産業会館４階 （一財）消防試験研究センター香川県支部（15ページの案内図を参照）
受　付　時　間	９時～17時（土曜日・日曜日・祝日・振替休日を除く。）

受験願書は、郵送又は持参のいずれでも受け付けます。**郵送の場合は、受付締切日までの消印のあるものに限り受け付けます。**受験願書を折り曲げずに入る大きさの封筒を使用してください。なお、受験願書は、特定記録郵便等で郵送されると、受験願書を当支部に郵送した記録がお手元に残りますので確実です。

3．受験案内、受験願書及び試験手数料払込用紙の常置場所

⑴（一財）消防試験研究センター香川県支部　⑵ 香川県内の各消防（局）本部、消防署
⑶ 直島町役場　⑷ 香川県危機管理総局危機管理課

なお、受験案内、受験願書等を郵便で請求される場合は、返送用封筒（Ａ４版のものが折らずに入る大きさ）に180円分（２部以上は重量相当分）の郵便切手を貼り、表に住所、氏名を書いて「危険物取扱者試験受験願書請求」の旨を明示し、当支部へ請求してください。

4．危険物の種類、免状の種類及び取扱いができる危険物

取り扱うことができる危険物は、免状の種類により、次表のように定められています。

免状の種類		取り扱える危険物の品名（例）・性質
甲種		すべての種類の危険物
乙種	第１類	塩素酸塩類、硝酸塩類等の酸化性固体
	第２類	硫化りん、マグネシウム等の可燃性固体
	第３類	カリウム、黄りん等の自然発火性物質・禁水性物質
	第４類	ガソリン、灯油、軽油、重油、ギヤー油、動植物油類等の引火性液体
	第５類	有機過酸化物、ニトロ化合物等の自己反応性物質
	第６類	過塩素酸、硝酸等の酸化性液体
丙種		ガソリン、灯油、軽油、重油、ギヤー油、動植物油類等

5．試験種類、試験科目、問題数及び試験時間

試験種類	試験科目 ※（　）は略称	問題数	合計	試験時間
甲種危険物取扱者試験	①危険物に関する法令（法令）	15問	45問	２時間30分
	②物理学及び化学（物化）	10問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	20問		
乙種危険物取扱者試験	①危険物に関する法令（法令）	15問	35問	２時間
	②基礎的な物理学及び基礎的な化学（物化）	10問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		
丙種危険物取扱者試験	①危険物に関する法令（法令）	10問	25問	１時間15分
	②燃焼及び消火に関する基礎知識（燃消）	5問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		

〔備考〕乙種危険物取扱者試験は、第１類から第６類までの類別ごとに行います。

6．受験資格及び試験科目の免除

(1) 甲種

受験資格は、次表のとおりです。(試験科目の免除はありません。)

対　象　者	大学等及び資格詳細	願書資格欄記入略称	証明書類
[1] 大学等において化学に関する学科等を卒業した方（専門職大学の前期課程を修了した方） (別表1に例示)	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校	大学等卒	卒業証明書 又は 卒業証書 学位記 (学科等の名称が明記されているもの)
	大学・短期大学・高等専門学校・ 高等学校・中等教育学校の専攻科		
	防衛大学校、職業能力開発（総合）大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等		
	専門職大学の前期課程を修了		
[2] 大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した方 (別表2に例示)	大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校(高等専門学校にあっては専門科目に限る)、大学院、専門職大学院、専修学校	15単位	単位修得証明書 又は 成績証明書 （修得単位が明記されてるもの)
	大学・短期大学・高等専門学校の専攻科		
	防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発（総合）大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等		
[3] 乙種危険物取扱者免状を有する方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が２年以上の方	実務２年	乙種危険物取扱者免状 及び乙種危険物取扱実務経験証明書
	次の４種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方 ◯第１類又は第６類　◯第２類又は第４類 ◯第３類　　◯第５類	４種類	乙種危険物取扱者免状
[4] 修士・博士の学位を有する方	修士、博士の学位を授与された者で、化学に関する事項（別表１に例示）を専攻した方（外国の同学位も含む。）	学　位	学位授与証明書､学位記､修了証書又は修了証明書(学位を取得していること､かつ､化学に関する事項を専攻したことが分かるもの)

［備考］

1．[1] の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が２年以上のものに限ります。

2．[1]、[2] の専修学校については、修業年限２年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか、次のいずれかの書面が必要になります。

・専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面

・専修学校の専門課程の修業年限が２年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面

3．[2] の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院、専門職大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわりなく算定することができます。放送大学も同様に算定できます。また、複数の大学等において単位を修得した場合は、それぞれの単位を通算することができます。

4．[3] の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書Ｂ面裏の様式（14ページ参照）を使用するか、その内容を具備した書類を作成し提出してください。

5．旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問合わせください。

6．過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある方は、その時の受験票若しくは受験票（控）又は試験結果通知書を提出することにより受験資格の証明書に代えることができます。(コピー可)

7．【願書資格欄記入略称】は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入してください。

⑵　乙種

ア　受験資格は、必要ありません。

イ　試験科目の免除については、次表のとおりです。

免除資格者	免除類別	試験科目	免除内容	解答問題数	合　計	試験時間
乙種危険物取扱者免状を有する方	全　類	①法令	全部免除	0問	10問	35分
		②物化	全部免除	0問		
		③性消	（免除なし）	10問		
火薬類免状を有する科目の一部免除申請者	第1類 第5類	①法令	（免除なし）	15問	24問	1時間30分
		②物化	一部免除	4問		
		③性消	一部免除	5問		
乙種危険物取扱者免状を有し、かつ火薬類免状を有する科目免除申請者	第1類 第5類	①法令	全部免除	0問	5問	35分
		②物化	全部免除	0問		
		③性消	一部免除	5問		

［備考］　火薬類免状とは、甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状又は甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）を意味します。

⑶　丙種

ア　受験資格は、必要ありません。

イ　試験科目の免除については、次表のとおりです。

免除資格者	試験科目	免除内容	解答問題数	合　計	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	①法令	（免除なし）	10問	20問	1時間
	②燃消	全部免除	0問		
	③性消	（免除なし）	10問		

7．受験手続

受験申請方法は電子申請と書面申請の２通りがあります。

⑴　電子申請

ア　申請方法

（一財）消防試験研究センターホームページ（https://www.shoubo-shiken.or.jp/）から申請を行ってください。なお、詳細にあっては同ホームページをご覧ください。

イ　受験資格証明書等のご準備

危険物取扱者免状以外の資格で、試験科目の一部免除を希望又は甲種危険物取扱者試験を受験する方は、６．⑴⑵⑶を参照し、証明書類を電子ファイル化（JPEG形式又PDF形式）したものを申請情報入力画面に従ってアップロードしてください。

証明書類が旧姓で現在の姓と一致しない場合、新旧の氏名が確認できる書類を証明書類と併せてアップロードしてください。（例：運転免許証（旧姓記載）、戸籍抄本、住民票等）

電子ファイル化に際しての留意事項
1　電子ファイル化は、 ①　デジタルカメラ・スマートフォンで撮影したもの又はスキャンしたもの ②　証明書類の全体が鮮明に確認できるもの ③　印影が欠けていないもの としてください。 2　証明書類を撮影する場合は、机等の平らな場所に置いて全体を写し、ピントを合わせて鮮明に撮影してください。 3　原本を確認させていただく場合がありますので、原本は保管しておいてください。 4　アップロードできるファイルサイズは合計10メガバイトまでです。

⑵　書面申請

受験する種類（乙種危険物取扱者試験の受験者は、類）ごとに、次の書類が必要です。

ア　受験願書

イ　甲種危険物取扱者試験の受験者は、前６．⑴中の「証明書類」欄の書類を提出してください。

※卒業証書、免状等は、コピー（縮小したものも可）して貼り付けてください。

ウ　乙種危険物取扱者試験において、試験科目の免除を受ける受験者は、「乙種危険物取扱者免状」、「火薬類免状」の写し（コピー）を提出してください。

エ　丙種危険物取扱者試験において、試験科目の免除を受ける受験者は、「５年以上消防団員として勤務したことを証明する書類」（消防団長等が証明するもの）及び「消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了したことを証明する書類」（消防学校長が証明する

もの）を提出してください。なお、証明書類はコピー可となります。

オ　払込用紙で試験手数料の払込みをした方は、試験手数料の「振替払込受付証明書（お客さま用）受験願書貼付用

カ　既に「危険物取扱者免状」を取得している人は、既得免状の写し（コピー）

キ　その他

過去に甲種の試験を受験したときの受験票若しくは受験票（控）又は試験結果通知書（資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。）を提出することにより、甲種の受験資格の証明に代えることができます（コピー可）。

(3)　団体受験申請

あらかじめ香川県支部に登録された学校、会社等の団体は、一括して受験申請（電子申請・書面申請）ができます。書面申請の場合は、所定の「団体受験申請申込書」を添付のうえ、受験願書を提出してください。

なお、新たに登録を希望する団体は、当支部にご相談ください。

(4)　試験手数料の払込み

ア　試験手数料は、次表のとおりです。

甲　種	乙　種	丙　種
7,200円	5,300円	4,200円

イ　電子申請の場合

払込方法は、次の決済方法から選択できます。試験手数料の払込みには、所定の払込手数料が必要になります。

(ア)　ペイジー（Pay-easy）決済　※情報リンク方式、オンライン方式

(イ)　コンビニエンスストア決済（セブン－イレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート、デイリーヤマザキ（一部店舗を除く。））

(ウ)　クレジットカード決済（VISA、MasterCard、JCB、アメリカンエキスプレス、ダイナース）

(エ)　スマホ決済（PayPay、メルペイ）

※　（一財）消防試験研究センターでは、電子申請に係る試験手数料の収納に関して、全て三井住友カード株式会社に業務委託しております。

ウ　書面申請の場合（郵便局又はゆうちょ銀行窓口で払込みの場合）

(ア)　受験願書と一緒に受領した所定の払込用紙を使って、前記の試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込み、必ず「**振替払込受付証明書（お客さま用）**（ **受験願書貼付用** ）」に日附印を受けてください。（ATMは使用せず、必ず窓口で受付局の「日附印」をもらってください。）

なお、払込みには、所定の払込手数料が必要です。

(イ)　次に「**振替払込受付証明書（お客さま用）**（ **受験願書貼付用** ）」を受験願書Ｂ面の試験手数料欄に貼ってください。（本人用の「振替払込請求書兼受領書」を貼らないように、注意してください。）

なお、複数種類を受験される方や、学校、会社等の団体で２人以上の受験者がいる場合は、一括して合計金額を払い込んでもかまいません。この場合、「**振替払込受付証明書（お客さま用）**（ **受験願書貼付用** ）」の依頼人氏名欄に、団体名と受験申請者の内の1人の氏名を記入し、記入した方の受験願書のB面の試験手数料欄に貼り、全ての受験願書を同じ封筒に入れて提出してください。

エ　書面申請の場合（受験願書B面の２次元コード経由で払込みの場合）

(ア)　払込方法は、「イ 電子申請の場合（ア）～（エ）」と同じ。

(イ)　決済完了後、決済完了メールに記載されている決済完了番号（18桁）を受験願書B面の決済完了番号記入欄に記入してください。

オ　**一旦払込みされた試験手数料は、お返しできません。**

8．複数種類又は時間帯の受験

次の(1)と(2)のように複数の種類を受験する場合は、電子申請であれば、システムの案内に従い入力してください。書面申請であれば、それぞれ種類ごとに受験願書を作成し、同一の封筒に入れて提出してください。

(1)　試験日が異なる場合（併願受験）

例えば、一日目に乙種第４類を受験し、二日目に乙種第４類以外の乙種を１種類又は丙種を受験することができます。

(2)　同一試験時間帯の場合（複数受験）

既に乙種の免状を持っている方は、他の乙種を２種類まで同一時間帯（試験時間は２種類

分）に受験することができます。例えば、乙種第４類の免状を持っている方は、乙種第１類と乙種第３類を同一時間帯に受験できます。

９．受験願書等記入要領

(1)　書面申請については、別記「受験願書の記入要領例」(13～14ページ）を参照してください。

(2)　受験願書等に不備があるときは、受理できないことがあります。また、受験願書を郵送されるときは、郵便料金をよく確かめて投函してください。「料金不足」の郵便物は受け取れませんので、注意してください。

(3)　受験願書提出後の、受験種類等の内容の変更、受験の取り止め、免除資格の変更や免除を「受ける」か「受けない」などの変更はできません。また、受験願書等の返還はできません。

10．受験票及び写真

(1)　受験票の送付方法

ア　電子申請の場合

試験日のおおむね10日前までに、受験申請時に登録した受験者の電子メールアドレスに受験票がダウンロードできる旨のメールを当センターから送信します。受験者本人が受験票をダウンロードして印刷し、試験当日、必ず持参してください。（７ページ参照）

イ　書面申請の場合

試験日のおおむね10日前までに発送します。万一、受験票が試験日の６日前までに届かない場合には、当支部までお問合せください。紛失等された場合もご連絡ください。

(2)　写真について（電子申請、書面申請共通）

受験日前６か月以内に撮影した正面無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）、無背景の上三分身像で縦4.5cm、横3.5cm又はパスポート規格の大きさ、枠無しとし、鮮明なもの（裏面に撮影年月日、氏名及び年齢を記入してください。）を１枚準備して、受験票に貼ってください。

デジタルカメラで撮影されたものは、写真専用紙で印刷した鮮明なものとしてください。

写真は受験者本人の確認及び危険物取扱者免状作成に使用しますので、試験当日は、写真を貼った受験票を必ず持参してください。不適切な写真の場合、再提出を求める場合があります。

(3)　その他注意事項

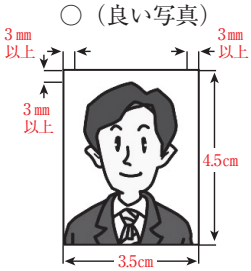
ア　受験票を持参しないと受験できません。

イ　受験票に前記(2)の写真を貼っていない又は写真が不鮮明な場合には受験できません。
（写真を貼る位置は受験票の太線部分です。）

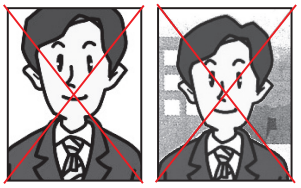
ウ　受験票の氏名欄は受験者の氏名をかい書で記入してください。

【受験票に貼る写真の例】

○（良い写真）



×（悪い写真）



頭髪やあごなど顔の一部が切れているもの。

背景等が写っているもの。

※下記についても注意してください。

・背景と、頭髪や衣服の色が同系色でなく、影がないもの。
・ふちなしで、左記図の各寸法を満たしたもの。
・デジタル写真の場合は、ドット（網状の点）やにじみ等のない、高画質で鮮明なもの。（写真専用紙を使用してください。）

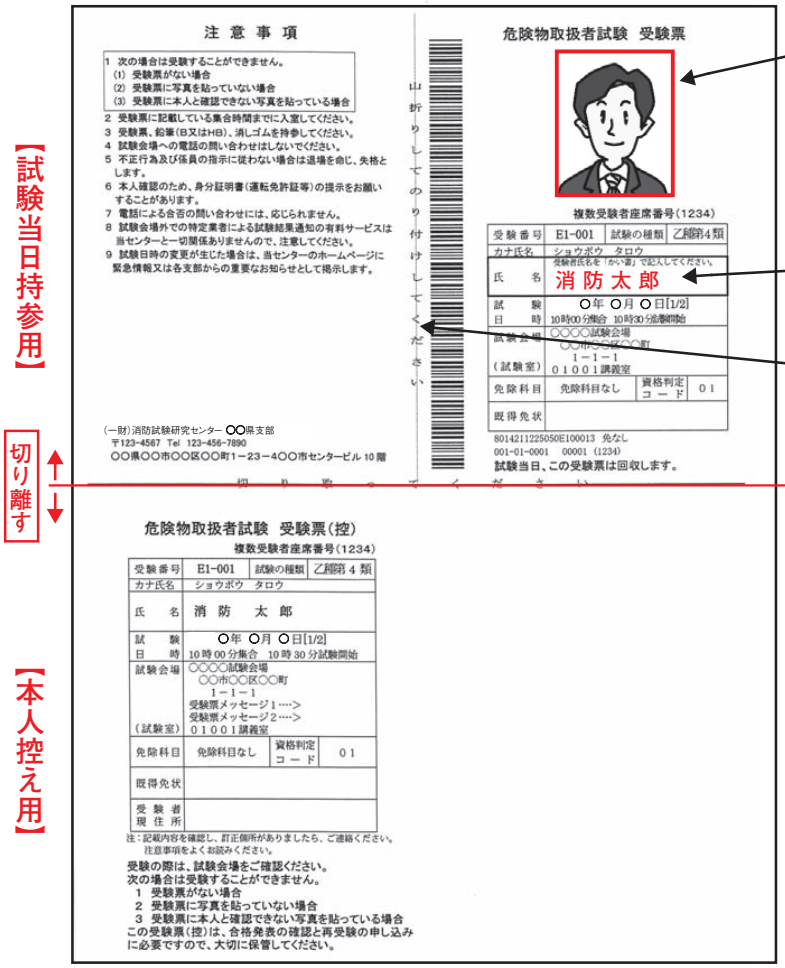
《不適切な写真の例》

表面にキズのあるもの。サングラスを着用しているもの。眼鏡のフレームやレンズが反射しているもの。頭髪が目にかかっているもの。頭髪やあごなどの顔の一部が切れているもの。背景等が写っているもの。※写真のコピーは不可。

【書面申請用受験票】　※受験票はイメージです。

切り離して持参してください。

【電子申請用受験票】　※受験票はイメージです。



※　受験票のダウンロード

1．受験申込みした画面と同じ画面からできます。

2．「電子申請受付番号」が不明な場合には、「電子申請状況確認」画面で確認してください。

※　受験票の作成方法

1．A４版普通用紙に印刷（縮小、拡大しないこと）した受験票用紙を切り取り線に沿って、上下に切り取る。下半分は、申請者の控えとなる。

2．切り取った上半分の受験票を、真中の点線に沿って山折りする。
山折りした受験票と注意事項の裏面全体をのりづけし、貼り合わせる。

11. 試験の方法

甲種及び乙種の試験は五肢択一式、丙種の試験は四肢択一式の筆記試験です。（いずれもマークシート方式）

なお、受験票に記載されている試験の種類、科目免除の内容等を事前によく確認してください。

12. 試験当日の注意事項

(1)　試験当日は、写真を貼った受験票、鉛筆又はシャープペンシル（HB又はBのもの）、消しゴムを必ず持参してください。（写真を貼っていない又は写真が不鮮明な場合には受験できません。）（ボールペンは、採点時に機械による読取りができないので、使用しないでください。）

(2)　試験場では参考書等、電卓、計算尺、定規等は一切使えません。携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は、必ず電源を切り、カバン等にしまってください。（これらの電子機器類を、時計として使用することはできません。）試験中にこれらを使用すると不正行為になります。

(3)　受験票に記載の集合時刻、試験室、その他の注意事項をよく確認し、集合時刻（試験開始30分前）に遅れないように試験室に入室してください。

(4)　試験会場には、駐車できる場所はありません。他の施設の駐車場や道路上等に駐車すると他の迷惑になります。公共交通機関等を利用し、試験会場への自動車での来場はしないようにしてください。

(5)　受験票の住所、氏名、フリガナなどが間違っている場合には、試験当日に試験室で試験監督員にお申し出ください。修正申告書をお渡ししますので、正しい内容を記入して提出してください。

(6)　**試験問題集及び解答カードは、持ち帰ることはできません。**また、問題集の一部を切り

取ったり、カメラ等で撮影することもできません。このような行為を行った場合は、失格となりますので注意してください。

(7) カンニング等により不正行為とみなされた場合は、受験は直ちに中止、退室となり、試験は失格となります。

(8) 試験会場で、注意を守らない、係員の指示に従わない、他の受験生に迷惑を及ぼす恐れがある場合などには、受験をお断りしたり、退場を命じ、失格とすることがあります。

13. 合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験ともに、試験科目ごとの正答率が、それぞれ60％以上であること。(試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く。)

なお、乙種第１類又は第５類の受験者であって、前記６．(2)のイにより試験科目の一部が免除された方は、免除された以外の問題で上記の基準を満たすこと。

14. 結果発表

(1) 結果発表は、第１回は令和７年７月29日(火)頃、第２回は11月27日(木)頃、第３回は令和８年３月30日(月)頃の予定です。

(2) 当支部の掲示板（支部事務所前）に合格者の受験番号を公示するとともに、当センターのホームページ上に公示日の正午から掲示します。

また、受験者全員に郵便ハガキ（試験結果通知書）で合否の結果を通知します。

なお、試験結果の合否に関する電話による問合せ、試験問題及びその解答に関する問合せには、一切応じられません。

15. 免状の交付申請手続き及び交付

試験に合格された方は、次の書類等を当支部に提出してください。(郵送又は窓口提出)

なお、６か月経過後に提出される場合は、写真（縦4.5㎝×横3.5㎝）の再提出が必要です。

(1) 危険物取扱者免状交付申請書(試験結果通知書と一体になっています。切り離さないでください。)

申請書には、必ず、申請者名、電話番号を書いてください。また、申請書にあらかじめ印字してある内容が正しいかどうかを確認し、間違っている場合は赤字で訂正してください。

(2) 交付手数料2,900円(香川県収入証紙を申請書裏面に貼ってください。)※収入印紙ではありません。

香川県収入証紙の販売所は、香川県のホームページをご覧ください。当支部でも販売しています。

なお、県外等のため香川県収入証紙の入手が困難な場合は、現金書留で、封筒に現金と書類等を同封して郵送してください。

(3) 既に他の種類の危険物取扱者免状を持っている方はその免状

本籍、氏名等に変更のある方は、併せて変更申請をしてください。また、免状を亡失等された方や免状に旧姓併記を希望される方は、当支部にお問合せください。

(4) 外国籍の方は、住民票等

(5) 免状の郵送を希望する方は、免状返送用封筒

定形封筒に住所（又は勤務先）・氏名を書き、簡易書留郵便料460円分の切手を貼り、裏面右下に受験番号を記入してください。

16. 問合せ先

（一財）消防試験研究センター香川県支部
〒760－0066
高松市福岡町２－２－２　香川県産業会館４階
電話087－823－2881　FAX087－823－2887

電子申請（インターネットによる受験申請）については、当センターのホームページに詳細な利用方法や、Q＆Aが掲載されていますので、申請に当たっては、必ずこちらをご確認のうえお申込みください。

なお、電子申請に関する問合せ等の対応については、（一財）消防試験研究センターの本部で行いますので下記までお願いします。

（一財）消防試験研究センター本部　電子申請室
専用電話（全国共通）0570－07－1000（有料）
受付時間９：00～17：00（土日、祝日・振替休日を除く。）

※　（一財）消防試験研究センターは、試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書等の出版は、一切行っておりません。

17. 個人情報の取扱い

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、取得した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

⑴　当センターの個人情報の内容と利用目的は、次のとおりです。

①　個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

②　利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、受験票への表示、結果通知書及び免状交付申請書、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

⑵　当センターは、利用目的を達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。

その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

次回、受験を希望される方は、受験票や結果通知書が、次回受験時に、甲種の受験資格を証明する添付資料や、電子申請時の資料になる場合がありますので、大切に保管してください。

別表１

化学に関する学科等の例

１　名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
（ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。（例）人類文化学科等）

２　次の表に示す学科又は課程等

あ	安全工学科
い	医療薬学科
え	衛生薬学科
お	応用原子核工学科
	応用生物科学科
	応用生物工学科
	応用生命科学科
	応用生命工学科
	応用微生物工学科
か	環境生命科学科
	環境物質工学科
	環境マテリアル学科
き	基礎理学科
	機能高分子学科
	機能高分子工学科
	機能材料工学科
	機能物質科学科
	機能分子工学科
	金属加工学科
	金属学科
	金属工学科
	金属材料学科
	金属材料工学科
け	原子工学科
	原子力科
	原子力工学科
	原子炉工学科
こ	工業材料科
	厚生薬学科
	高分子学科
	高分子工学科
	高分子材料工学科
さ	材料開発工学科
	材料科学科
	材料科学工学科
	材料加工学科
	材料学科
	材料機能工学科
	材料工学科
	材料物性学科
	材料物性工学科
	材料プロセス工学科
し	色染工芸学科
	資源工学科
	資源素材工学科
	システム量子工学科
	食品科学科
	食品学科
	食品工学科
	食品工業科学科
	食料科学科
	森林資源科学科
せ	製剤学科
	製糸学科
	製造薬学科
	生体機能応用工学科
	生体物質工学科
	生体分子工学科
	生物応用工学科
	生物機能工学科
	生物工学科
	生物資源科学科
	生物資源利用学科
	生物生産科学科
	生物分子科学科
	生物薬学科
	精密素材工学科
	精密物質学科
	生命理学科
	製薬学科
	繊維工学科
	繊維高分子工学科
そ	総合薬学科
	総合薬品科学科
	素材工学科
と	塗装科
は	醗酵工学科
	醗酵生産学科
ふ	物質科学科
	物質科学工学科
	物質工学科
	物質生物科学科
	物質生物工学科
	物質生命工学科
	物質生命システム工学科
	物質分子科学科
	物質分子学科
	物質理工学科
	プロセス工学科
	分子工学科
	分子システム工学科
	分子生物学科
	分子生命科学科
	分子素材工学科
ま	マテリアル科学科
	マテリアル工学科
む	無機材料工学科
や	冶金学科
	冶金工学科
	薬科学科
	薬学科
	薬剤学科
	薬品科学科
ゆ	有機材料工学科
よ	窯業工学科
り	林産学科
	林産工学科

［備考］
学科の名称にかえて「部門」又は「専攻」等の名称を用いるものは、学科又は課程とみなします。

別表２

化学の授業科目例

１　名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
（ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。（例）進化学等）

２　次の表に示す授業科目

あ	アモルファス物性工学
	安全管理学
	安全工学
	安全防災工学
い	移動現象論
	移動速度論
	医薬品安全性学
	医薬分子設計学
	医用高分子機能学
え	衛生工学
	衛生薬学
	栄養学
	エレクトロセラミックス
	エレクトロニクス材料工学
お	応化・プロセス工学
か	回折結晶学
	界面工学
	界面制御学
	界面電子工学
	界面物性
	科学史
	核燃料工学
	核燃料サイクル特論
	核融合概論
	核融合工学概論
	化工熱工学
	化工熱力学
	化工物理学
	化工流体工学
	化石エネルギー
	火薬学
	ガラス工学
	ガラス材料
	ガラス状態論
	ガラス物性
	環境汚染物質分析学
	環境物質工学
	感光物性論
	岩石学
	官能基変換論
き	機器分析
	機能高分子学
	機能性高分子材料学
	機能性材料工学
	機能性触媒工学
	機能性有機材料
	機能セラミック論
	凝固論及び結晶生成
	金相学
	金属学
	金属加工学
	金属工学
	金属材料学
	金属材料工学
	金属製錬学
	金属組織学
	金属の相変態
	金属表面処理
	金属物性
け	計算溶液特論
	結晶回折
	結晶材料工学
	結晶評価工学
	原子エネルギー工学
	原子核工学
	原子力工学
	原子炉材料学
	原子炉燃料
こ	高温材料
	高温反応工学
	光学活性体合成論
	高機能材料特論
	高機能材料プロセス特論
	工業火薬学
	工業材料
	工業排水処理
	工業爆薬学
	工業反応速度論
	工業微生物学
	工業分析
	格子欠陥
	公衆衛生学
	高重合反応
	合成鉱物
	抗生物質
	厚生薬学
	合成薬品製造学
	構造用金属材料
	酵素利用学
	鋼中非金属介在物
	鉱物学
	高分子科学
	高分子学
	高分子工学
	高分子合成
	高分子構造
	高分子固体構造論
	高分子コロイド科学
	高分子材料学
	高分子反応
	高分子物性論
	固相変態論
	固体反応
	固体表面科学
	固体物性論
	固体平衡論
	コロイド学
さ	細胞培養学
	材料解析
	材料開発工学
	材料科学
	材料加工学
	材料強度学
	材料強度物性学
	材料結晶学
	材料工学
	材料構造解析学
	材料精製工学
	材料精密工学
	材料組織学
	材料組織形成論
	材料熱力学
	材料反応学
	材料物性学
	材料物理工学
	材料プロセス設計
	錯塩基及び酸化還元
	産業廃水処理
し	色彩工学
	色染実験
	システム安全工学
	焼結固体反応論
	焼成材料
	醸造学
	醸造工学
	醸造工業概論
	状態方程式特論
	触媒工学
	触媒設計
	触媒反応工学
	食品衛生学
	食品栄養学
	食品科学
	食品工学
	食品工業微生物学
	食品分析学
	植物分子生物学
	人工結晶
	人造繊維工学
	新薬論
す	水質学
せ	製剤学
	製剤工学
	製紙科学
	製紙学
	製紙工学
	製造薬学
	生体機能工学
	生体機能電気科学
	生体機能利用学
	生体工学
	生体高分子学
	生体触媒学
	生体光反応学
	生体分子工学
	生体分子反応
	製鉄製鋼耐火物
	生物機能開発学
	生物機能工学
	生物機能利用学
	生物工学
	生物資源科学
	生物資源利用学
	生物反応工学
	生物物性学
	生物分子科学
	生物薬学
	精密材料物性
	精密素材工学
	精密分離工学
	精密有機合成特論
	製薬学
	生理活性物質学
	精錬漂白論
	石油開発工学
	石油生産工学
	接合学
	接着及び接着剤
	接着学
	セメント工学
	セラミック科学
	セラミック基盤材料
	セラミック工学
	セラミック材料学
	セラミックス概論
	セラミックス材料工学
	セラミックス電子材料
	セラミックプロセシング
	セルロース科学
	繊維高分子工学
	選鉱学
	先端材料物性特論
そ	相平衡論
	相変態論
	素材工学

た	耐火物概論
	耐熱材料特論
	多結晶材料工学
	単位操作
	単位反応学
	単結晶材料工学
	蛋白質工学
ち	超高温材料
	調剤学
て	鉄鋼材料学
	鉄鋼表面処理
	鉄冶金
	定性分析
	定量分析
	電解製錬工学
	電解反応
	電気材料学
	電気電子材料科学
	電気電子材料学
	電極反応論
	電子材料
	電子物性
	伝熱工学
と	同位体地球科学
	毒劇物学
	特殊機能セラミックス
	毒性学
	毒物学
	土壌学
	塗装学
	塗料工業科学
に	ニューセラミック学
ね	燃焼学
	燃焼工学
	燃焼熱工学
	燃焼物理科学
	粘土工学
	燃料工学
	燃料工業
	燃料燃焼潤滑論
	燃料燃焼論
	燃料分析学
の	農薬学

は	バイオテクノロジー
	バイオプロセス工学
	培養工学
	爆発工学
	薄膜材料工学
	醗酵学
	醗酵工学
	醗酵工業論
	醗酵生産学
	パルプ学
	パルプ工学
	半導体工学
	半導体材料
	半導体デバイス工学
	反応工学
	反応性物質材料
	反応操作
	反応速度論
ひ	非金属材料
	非晶質科学
	微生物遺伝学
	微生物学
	微生物機能学
	微生物工学
	非鉄材料学
	非平衡論
	表面・界面工学
	表面工学
	表面分析
	肥料学

ふ	ファインケミカル工業分析
	複合材料機能学
	腐食及び防食学
	物質移動プロセス特論
	物質科学
	物質工学
	物質構造解析論
	物質構造論
	物質生科学
	物質生物工学概論
	物質プロセス工学
	物質分析法
	物性科学
	物性予測論
	物性論
	物体学
	物理薬学
	プラントエンジニアリング
	プロセス工学
	プロセスシステム工学
	プロセス制御工学
	プロセスダイナミックス
	プロセス熱力学
	分光分析
	分散系物性学
	分子遺伝学
	分子解析学
	分子機能
	分子機能設計学
	分子構造論
	分子シミュレーション特論
	分子情報計測学
	分子生物科学
	分子生物学
	分子設計論
	分子素材工学
	分子熱力学
	分子微生物学
	分子薬理学
	粉体工学
	分離科学
	分離工学
	分離システム工学
	分離装置工学
	粉粒体工学
へ	平衡論
	平衡・反応論
ほ	放射線計測学
	放射線物性計測学

ま	膜機能工学
	マテリアル工学
み	水処理工学
	水処理実験
	水の分子工学特論
む	無機材質学
	無機材料工学
	無機電子制御反応
	無機薬品製造学
め	免疫薬剤学
も	木材化工学
	木材成分学
	木材糖化論
	木質材料学
	木質資源化工学
	木質資源工学
や	冶金学
	冶金工学
	冶金反応工学
	薬科学
	薬学
	薬剤学
	薬品学
	薬品工業概論
	薬品製造学
	薬品製造工学
	薬品分析学
	薬物学
	薬用植物学
	薬理学
	薬効学
ゆ	有機機器分析
	有機機能性材料
	有機金属
	有機構造解析
	有機材料工学
	有機材料工業論
	有機材料設計
	有機材料表面科学
	有機材料物性
	有機材料レオロジー
	有機電解合成論
	有機反応機構
	有機反応論
	有機分析学
	有機薬品製造学
	融体物有機材料電子物性
よ	窯業工学
	窯炉工学

り	粒子線結晶学
	量子分光学
	量子力学
	林産学
	林産工学
	林産製造学
	林産物製造学
	臨床薬学
	臨床薬理学
れ	レオロジー

［備考］

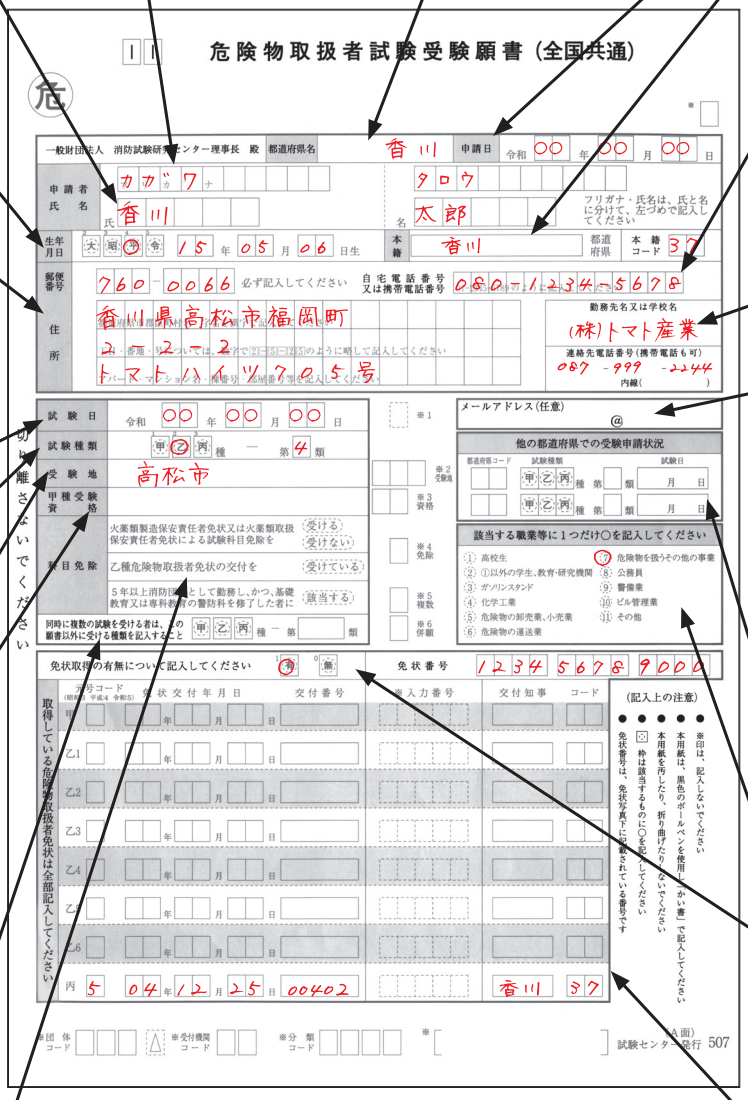
授業科目名の前後に基礎、応用、論、序論、理論、各論、概論、特論等の名称のつくものは、同一の授業科目とみなします。

別記

受験願書の記入要領例

・Ａ面及びＢ面があり、複写式となっています。折ったり、曲げたりしないでください。
・黒色のボールペンで、かい書で正しく書いてください。
・書き損じた場合は、横２本線を引いて、そのすぐ上に正しく書いてください。
・年月日を記入するすべての欄は、１桁の数字の場合、０を前に付けてください。

Ａ面



○左づめで記入する。外国籍の受験者は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入する。（枠が不足する場合は、適宜詰めて記入してください。）

○該当する元号に○を付け、生年月日を記入する。

○郵便番号は正確に記入し、住所は現に居住している所を都道府県名から記入する。また、濁点・半濁点が入る場合には、１マスに入れる。

○試験日を記入する。

○受験する試験の種類を記入する。

○「高松市」と記入する。

○甲種の受験者は、受験資格を「６．(1)甲種」の表に記載された「願書資格欄記入略称」を記入するとともに、証明書類を受験願書Ｂ面裏の各種証明書等貼付欄に必ずのり付けする。乙種、丙種の受験者は、記入する必要はない。

○他に試験を受ける場合に記入する。

○左づめで記入する。また、カナ氏名の濁点・半濁点は、１マスを使用する。

○「香川」と記入する。

○申請日を記入する。

○本籍の都道府県名を記入する。外国籍の場合は、「外国籍」と記入。本籍コードは、受験願書Ｂ面裏の都道府県等コードを必ず記入する。

○電話番号の局番等の間は１マスを使用して「－」でつなぐ。（平日８時半～17時に連絡の取れる電話番号を記入する。）

○勤務先・学校名等を記入する。

○書類等に不備があった場合の連絡手段として、メールによる連絡を希望する方は、メールアドレスを記入する。（携帯電話アドレス可）
迷惑メール対策等の設定をしている方は、当支部からのメールが届くよう、ドメイン指定受信等の設定（ドメイン名shoubo-shiken.or.jp）を行う。

○３か月以内に香川県以外で受験の申請又は受験した場合は、都道府県コード、試験種類、試験日を記入する。

○現在の職業等で該当する箇所に○を付ける。

○危険物取扱者免状の有無について、○を付ける。有の場合は、免状番号も記入する。免状番号は、交付を受けている免状の写真の下に記載されている12桁の番号。

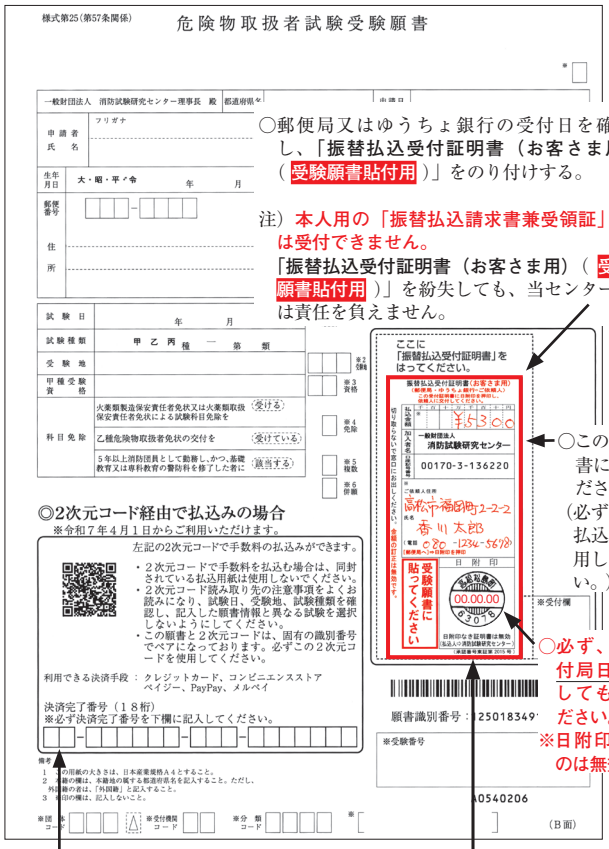
○危険物取扱者免状の交付を既に受けている方は、該当する種類の元号コード（昭和：３、平成：４、令和：５）、免状交付年月日、交付番号、交付知事、都道府県コードを記入する。なお、免状のコピーを受験願書Ｂ面裏の既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄にのり付けする。

○乙種第１類又は第５類の受験者で火薬類免状を有する方は、該当する事項に○を付ける。なお、「受ける」に○を付けた場合には、火薬類免状のコピーを受験願書Ｂ面裏の各種証明書等貼付欄にのり付けする。

○既に乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方は○を付け、乙種免状のコピーを受験願書Ｂ面裏の既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄にのり付けする。

○丙種の受験者で、消防団員経験による科目免除を受けたい方は、「該当する」に○を付け、受験願書Ｂ面裏の「各種証明書等貼付欄」に証明書をのり付けする。「５年以上消防団員として勤務したことを証明する書類」及び「消防学校の教育訓練のうち基礎教育（普通教育を含む。）又は専科教育の警防科を修了したことを証明する書類」の両方が必要。

B面表



○郵便局又はゆうちょ銀行の受付日を確認し、「振替払込受付証明書（お客さま用）（受験願書貼付用）」をのり付けする。

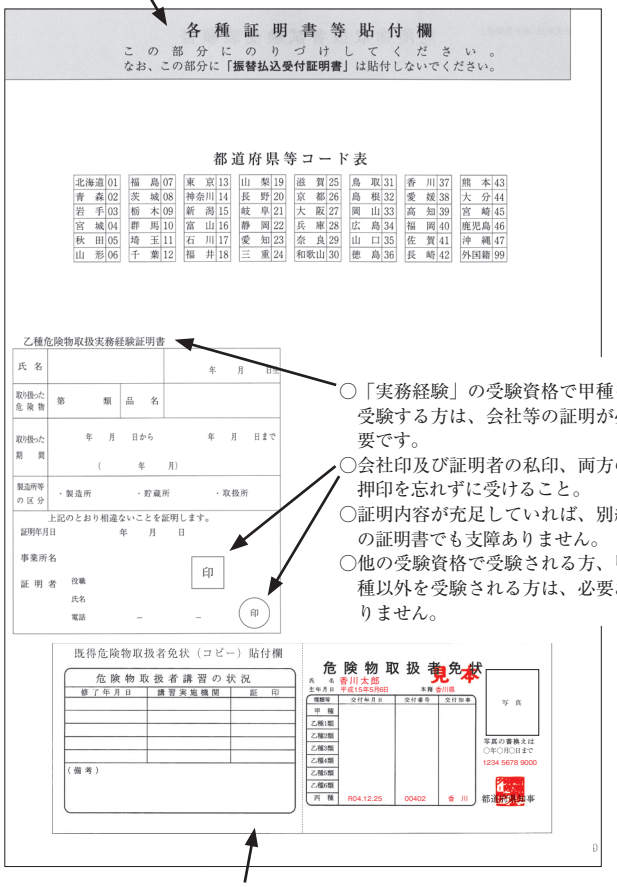
注）本人用の「振替払込請求書兼受領証」では受付できません。
「振替払込受付証明書（お客さま用）（受験願書貼付用）」を紛失しても、当センターでは責任を負えません。

○この部分を願書に貼ってください。
（必ず、所定の払込用紙を使用してください。）

○必ず、窓口で受付局日附印を押してもらってください。
※日附印のないものは無効です。

○2次元コード経由で払込みの場合
決済完了メールに記載されている決済完了番号（18桁）を記入してください。

B面裏



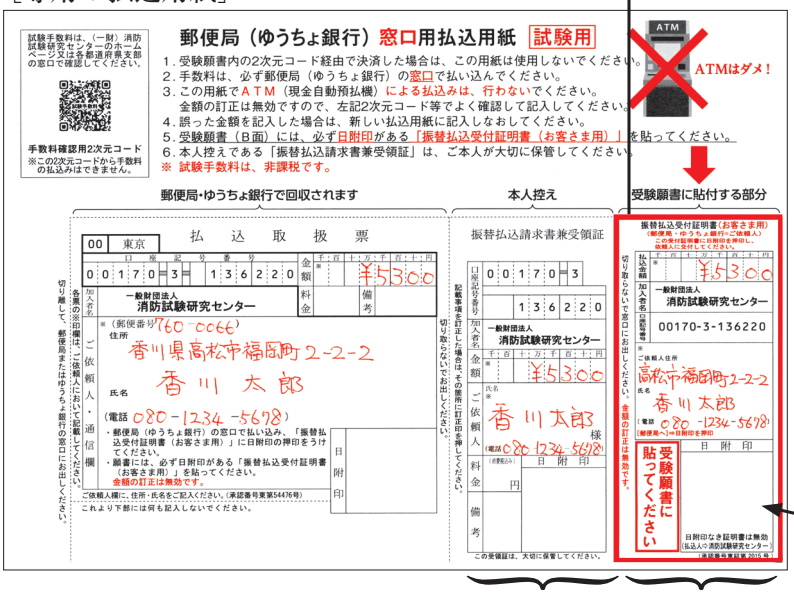
○甲種危険物取扱者試験の受験資格を証明する書類などをこの欄に貼付する。（3～4ページを参照）

○「実務経験」の受験資格で甲種を受験する方は、会社等の証明が必要です。
○会社印及び証明者の私印、両方の押印を忘れずに受けること。
○証明内容が充足していれば、別紙の証明書でも支障ありません。
○他の受験資格で受験される方、甲種以外を受験される方は、必要ありません。

○危険物取扱者の免状を持っている場合は、コピーを貼付する。

この部分を願書に貼る。

［専用の払込用紙］



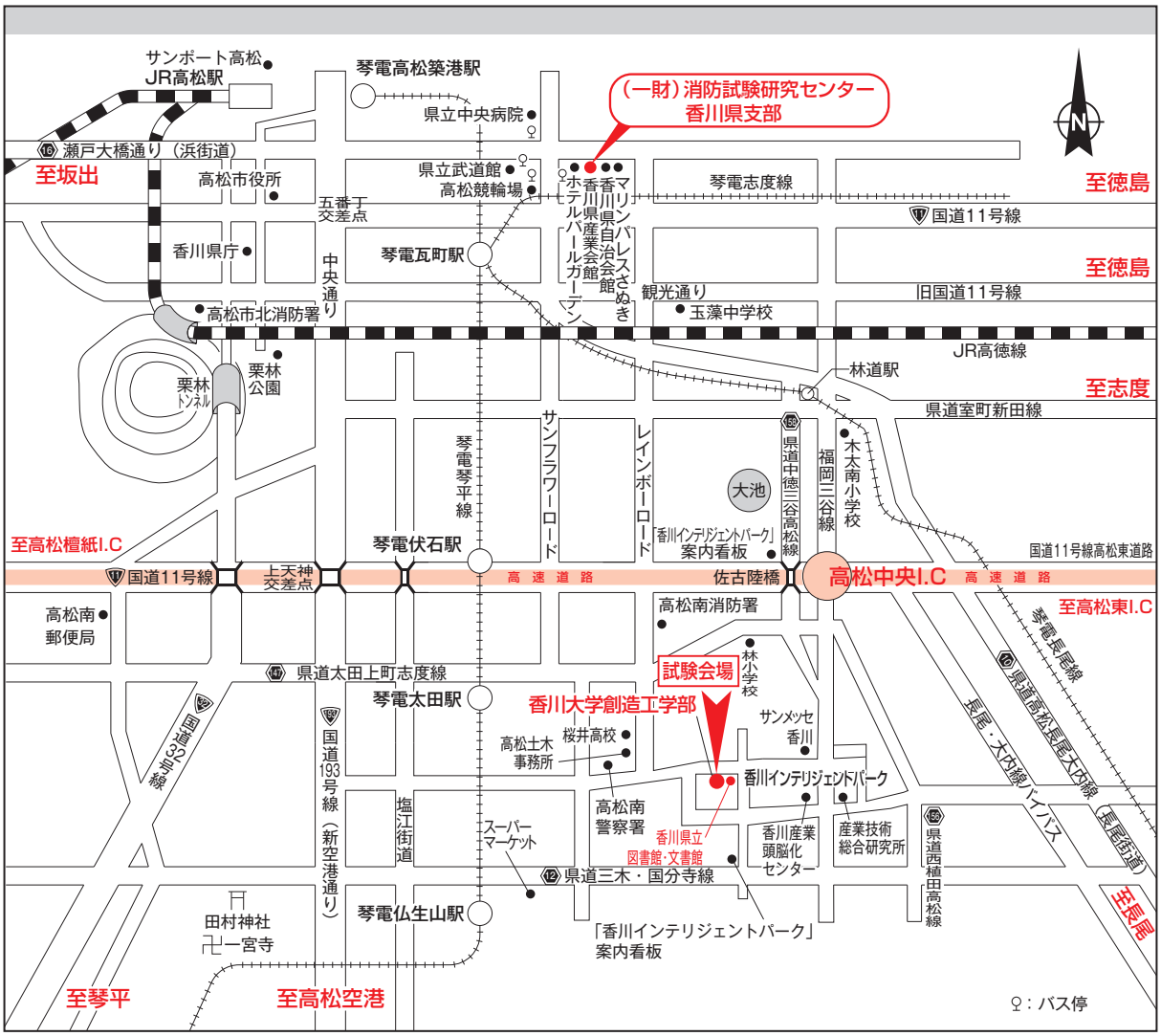
○受験願書と一緒に受領した郵便局又はゆうちょ銀行専用の払込用紙を使って、次の試験手数料を窓口で払い込む。

甲種　7,200円
乙種　5,300円
丙種　4,200円

○金額を訂正したものは、無効です。

○ATMは使用せず、必ず窓口で受付局の日附印を押してもらってください。

案　内　図



アクセス案内（令和7年3月現在）

●試験会場へ（香川大学創造工学部）※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。	
電車とバス	琴電琴平線「伏石駅」下車、ことでんバス（伏石駅サンメッセ線 行先別路線番号69「サンメッセ香川」）に乗り継ぎ、 「ことでん伏石駅２番のりば」→「香川大学創造工学部前」下車　徒歩１分
バス	ことでんバス「川島線・西植田線」 行先別路線番号65、67 に乗車 行先別路線番号65「レインボー通り・サンメッセ香川　川島・山田総合センター」 ⇒「香川大学創造工学部前」下車　徒歩１分 行先別路線番号67「サンメッセ香川　川島・山田総合センター」 ⇒「サンメッセ香川」下車　徒歩約10分
タクシー	ＪＲ高松駅→香川大学創造工学部　約25分 琴電伏石駅又は琴電太田駅→香川大学創造工学部　約10分
●香川県支部へ（香川県産業会館）	
バス	ことでんバス　○朝日町線「県立武道館」下車　徒歩約５分 ○まちなかループバス「高松けいりん場」下車　徒歩約５分
タクシー	ＪＲ高松駅から約10分
自家用車	香川県産業会館の来客駐車場をご利用ください。